

タンク内未処理水の処理手法決定
タンク内未処理水の処理開始
(補足説明資料)

2022年12月19日



東京電力ホールディングス株式会社

2. 『濃縮廃液スラリー（H2エリア）』

■ 処理手法決定（2022年度）

- 濃縮廃液スラリーは、スラリー安定化処理設備のフィルタープレスで処理する方針。
- 現状、模擬スラリー作製にあたり、フィルタープレスでの処理条件である「粒形分布」や「粘度」等の調製方法を検討しながら模擬スラリーを数サンプル作製中。
- 今後、上記の模擬スラリーにてビーカーレベルの試験を実施し、フィルタープレスで適用予定のろ布にて脱水可能か確認。
- 現在、フィルタープレス機の小型化を検討しており、設計内容が固まり次第、実機（フィルタープレス機）によるコールド試験も計画。また、長期間貯蔵によるスラリーの性状変化の確認の為、実スラリーの調査を実施予定。
- スラリー安定化処理設備へのスラリー移送は、過去にH2エリアへの移送実績がある事から実施可能と考えている。（今後、発生由来が同一のスラリーを移送予定であり、その際に移送性を確認）

